

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回ふじみ野市社会教育委員会議			
開催日時	令和5年11月27日（月） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午後12時10分			
開催場所	ふじみ野市役所 第4庁舎 2階 D201会議室			
出席した者の 氏名 (委員15人 中12人出席)	役職名	氏名	役職名	氏名
	議長	斎藤 宏	委員	長谷川 節子
	副議長	中窪 由香理	委員	大久保 昭男
	委員	山口 ゆかり	委員	岩 舘 豊
	委員	千葉 信	委員	小澤 真樹
	委員	石川 健一		
	委員	今井 志子	上福岡西公民館長	内田 徳子
	委員	江 科	事務局(課長)	永倉 秀雄
	委員	清水 篤史	事務局(副課長)	小林 久美
委員	越川 直樹	事務局(主事)	近藤 彩香	
会議の議題	(1) ふじみ野市立上福岡西公民館の今後のあり方について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部 社会教育課			
議事の確定	確定年月日	令和5年12月4日		
	記名押印	役職名 議長 斎藤 宏 ㊟		

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (小林)	(開会) 欠席者2名で会議成立、傍聴者0名の報告
永倉課長	(挨拶)
斎藤議長	【議事1 諮問「ふじみ野市立上福岡西公民館の今後のあり方について」】 (議事進行)
永倉課長	(説明・諮問理由及び概要)
内田館長	(説明・公民館事業の現状及び課題)
斎藤議長	今の事務局に説明について質問、意見等ありますか。
大久保委員	今回の諮問は市の社会教育行政にとって大きな課題である。公民館の枠組みにとらわれない事業展開をし、その中で市民が自ら考え、課題解決につながる活動を支援していくことが必要だろう。
	現状と公民館の果たすべき役割に乖離があり、こういった課題がでてきている。地域課題解決の場になっていないとか、カルチャーセンター化しないようにしてということは5年前に提出された建議においても提案されたが、現状何も変わっていない、一方で、文化施設で順調に事業が進んでいるという諮問理由の書き方には疑問がある。本当にこういった評価で良いのか。
永倉課長	乖離はあると思うが、利用者の満足度は十分に図られている。ステラ・ウェストで文化祭も開催しているが、公民館事業は文化施設において定着しつつあると考えている。
石川委員	どちらの方向に向けばいいのか自問自答している。公民館の在り方を問うているが、建物そのものを指しているのか、事業の継続性の話なのか。老朽化もあるが、文化施設化した時に公民館を位置付けるという話なのか。整理がつかない。また、公民館運営審議会をどうするのかという問題もあると思う。
永倉課長	老朽化により、改修は必要と考えている。大井中央公民館、上福岡公民館は改修に伴い多くの方に利用していただきたく、文化施設化を図った。上福岡西公民館についても同様に考えており、ハード面での地域間格差は無くしたいと考えている。ソフト面では施設がないからやらないということではなく、様々な場所で事業展開をしていきたい。

大久保委員	<p>公民館の設置基準において、公民館の機能は明確になっている。学習の支援、生涯学習の拠点としての中核施設、世代を超えた交流とまちづくりの拠点、この3つである。住民が何を学びたいかを捉えて講座を組む、その一方で地域課題、住民だけでは解決できない課題を行政と協働して解決をしていく、こういう取組を誰が計画し、実践しているのかが文化施設の中では見えにくい。文化施設を管理しているのは指定管理者であり、彼らと話し合いながらやっていかないとできないことだと思う。</p>
永倉課長	<p>文化施設の指定管理者の仕様書には社会教育士を配置するように記載している。また、月1回のモニタリング会議でチェックをおこなっている。館がないと事業ができないということではなく、ステラ・イーストやウェストでもおこなっている。現在は上福岡西公民館が中心となって事業を展開しているが、社会教育課に公民館担当を置いて進めていきたいと考えている。</p>
山口委員	<p>指定管理者と文化・スポーツ振興課との関わりはどのようになっているのか？</p>
永倉課長	<p>文化・スポーツ振興課がモニタリング等を担当している。</p>
越川委員	<p>文化施設と社会教育施設の違いが何かわからない。</p>
永倉課長	<p>社会教育施設（公民館）は社会教育法第22条に位置付けられている事業を行う学習の場であり、地域の課題解決の場である。文化施設は市長部局が文化振興事業を展開している。</p>
越川委員	<p>どちらの施設にも会議室やホールがあり、あまり変わらない印象がある。使う方からすればどちらでも良い。</p>
内田館長	<p>公民館では禁止されていることもある。営利目的の利用はその一つだが、場合によって認められることもある。また、個人の利用にも制限があったこともあり、公民館は利用しづらいという印象がある。このことが利用率の低下にもつながっていると考えている。</p> <p>「ふじみ野市文化施設管理運営計画」の23Pをみていただくとわかるが、社会施設の役割も果たすのがふじみ野市の新しい文化施設という位置づけになっている。</p>
千葉委員	<p>公民館がその役割を果たしていない、カルチャー化しない講座を公民館がやっていないということなのか。それとも利用者の活動がカルチャーセンター化しているということなのか。行政として公民館をどうしたいのかがわからない。今のままではいけないのか。</p>

内田館長	<p>「カルチャーセンター化しない公民館事業って何？」となってしまうことが問題だと思う。生活課題は重い話であり、地域の課題は掴みづらい。そこに時間をかけてしまうと1年はあつという間に過ぎてしまう。趣味や楽しいことをやるとみなさん来ていただける。そこから次の活動につながればよいが、それができていない。もっと深く切り込まないといけないと思うが、専門的なことは高齢福祉や子育て支援、人権担当など様々な部署がやっている。どちらも同じようなことをやっているの、どう整理したら良いかわからない。</p>
大久保委員	<p>つまり、公民館はカルチャーセンター化しているわけです。地域課題を市民に投げかけて、行政と一緒に解決に向かって取り組んでいくことが必要。当初の公民館はそうだったが、高度経済成長の頃からカルチャーに走ってしまった。</p> <p>文化施設化して公民館機能をどう残していくのかが問題。社会教育法上の位置付けが担保されるようにしてほしい。</p> <p>なぜ公民館がこうなってしまったのか？平成31年度の答申でも指摘されていたが、なぜ改善されなかったのか。公民館機能を維持していくにはどうしたらいいのかがポイントだと思う。</p> <p>月1回のモニタリングだけで市の意図が伝わるのか疑問に思う。市の基本構想の具現化のために社会教育施設でどう取り組んでいくのかが重要。文化・スポーツ振興課が施設の主管課になることで、社会教育課がどのように関わっていけるのかが重要。</p>
今井委員	<p>公民館を残しておかないといけないのではないか。指定管理者ができないといったら公民館事業は無くなってしまうのか。</p>
内田館長	<p>事業展開については文化施設の指定管理者だけがやるわけではなく、社会教育士と一緒に役割分担をしながら事業企画をしていく。</p>
今井委員	<p>予算の関係はどうなるのか。指定管理者は利益がないとやっていけないのではないか。</p>
内田館長	<p>公民館事業では無料の事業を行なっていく。指定管理者はその事業から派生して利益を出せるような事業展開をしていくことも考えられる。</p>
永倉課長	<p>新しい文化施設だけではなく、他の場所でも公民館事業を展開していく。民間のノウハウを活用して実施していきたい。</p>
越川委員	<p>結局、上福岡西公民館を社会教育施設として維持しなければならないということではなく、文化施設にした方が自由度が高くなるのならそれで良い。ハードとソフトは切り分けて考えて方がよいのではないか。</p>

岩館委員	<p>1980年代の社会教育を研究しているが、自分達で解決していこうという時に公民館が拠点になっており、機能していた。これまでの取り組みは評価されて良いと思う。若い人や新住民が使っているかということではないので、公民館の果たすべき機能は何か、果たせていない要因は何か、では、どうするのかということをも10年、30年という時間軸で検討した方が良いと思う。社会教育の役割は、文化施設を運営しながらだと公民館として行なっていた時よりもどうしても弱まると思う。上福岡西公民館は駅に近いという立地条件もあるので、文化施設化というだけでなく検討の余地があると思う。</p>
大久保委員	<p>公民館運営審議会からの建議に基づいて諮問されているので、建議に基づいて議論しないといけないと思う。</p>
江委員	<p>上福岡西公民館で中国語の教室を行なっている。産業文化センターでも同様の教室を行なっているが、公民館の方は館主催の中国語講座から始まっており、市内に住む中国の人とコミュニケーションが取りたいということで始めた。公民館では、言葉だけでなく文化や社会事情も紹介したりしている。駅前の清掃活動や文化活動に在住外国人も参加してほしいという思いを持っている人もおり、産業文化センターの中国語サークルとは違うなと思った。</p>
清水委員	<p>学校としてはコミュニティスクールにつながる活動が明確化できればいいと思う。</p>
長谷川委員	<p>社会教育の「教育」の面が大事だと思う。図書館が指定管理者になり、その辺の意識が薄れてきていると思う。調べ物をする時に司書に相談すると、以前はよく探してくれたが、今はパソコンで検索して「ありません」で終わってしまう。アルバイトの方が運動指導室で働いていたりして、民間委託で薄まってしまっていると感じている。</p>
小澤委員	<p>地域コーディネーターとして活動しており、公民館と協働し進めるということがよく言われている。小学校の授業で絵の具の使い方を教えてくれる人を紹介してほしいと言われ、ステラ・イーストで活動している人を紹介してもらった。社会教育課と文化・スポーツ振興課が連携してくれるのであれば良いと思うが、学校には地域の身近な人に関わって欲しいと思っている。</p> <p>入間地区社会教育委員協議会の社会教育委員部会では公民館がなくなることに対する憂いがよく意見として出される。公民館がなくなるのはあまりよろしくないのかなというイメージがある。自分が子育て中に上福岡西公民館を使っていたが、遠かったので車で移動していた。駐車場が少なく、使いづらかった面もあったので、主催は公民館だが他の施設で開催というのは良いと思う。</p>
中窪委員	<p>公民館はあまり馴染みがなく、文化・スポーツ振興課からの仕事の方が多い。</p>

	<p>いろいろな部署から依頼があるが、束ねるところが見えない。市の中に上福岡西公民館の機能を入れてくれたら相談しやすいと思う。横の連携をとってあげれば良いと思う。</p>
斎藤議長	<p>公民館運営審議会の建議を別紙の通りまとめてみた。8つの項目は、人材育成、ネットワーク構築、学習事業、リーダー育成の4つに分類できると思う。学習事業については公民館という箱物に思えるので、センターとして直接事業を担当していくというのが良いと思う。その他の3つは地域学校協働活動ネットワークで扱うべきことではないかと思う。ネットワークの中に社会教育施設などが入っている。第1段階として地域コーディネーターを配置したので、次のステップはネットワークをより具体化していくことが必要。全体のネットワークの中にセンターを位置付けて広げていったらどうか。</p>
石川委員	<p>以前、スポーツを所管する部署の課長をしていた。その頃からスポーツ施設の指定管理者のモニタリングをしていたが、モニタリングは報告会。協定書には提案が出てくるが、市のことを知らない人が来て窓口で対応することもある。</p> <p>これからは社会教育課がいかにスタンスを強化して前に進むか、職員数もしっかり配置してもらう必要があると思う。昭和50年代には社会教育も担当したが、その頃は新住民が増えており、仲間を見つけることが課題だった。今は課題が変わってきていると思う。公民館がないと公民館運営審議会もなくなると思うので、文化協会とも連携をとっていく必要があると思う。</p>
岩館委員	<p>専門性と継続性が大事だと思うが、指定管理者は指定期間5年間のことしか考えない。指定管理制度の全てがダメなわけではないが、指定管理にお願いしますだけでいいのかなと思う。</p>
大久保委員	<p>社会教育主事の配置について、ふじみ野市では昨年度発令が0人だった。今年度はどうか？</p>
永倉課長	<p>今年度は1名発令されています。</p>
大久保委員	<p>建議に書かれていることは重要なことである。類似施設の問題でいえば、ふじみ野市では平成27年度から生涯学習部門が市長部局に移り、社会教育と生涯学習の2本立てになった。県内では川越、八潮、宮代町が同じ体制。2本立ての課題が出るのは当然のこと。</p> <p>公民館の名前は変わってもいいが、失っていけないのは「公民館の機能」。そこをきちんと明文化し、担保することが重要。</p> <p>次回の会議で、建議について議論する時間があるのか。</p>
永倉課長	<p>議論の時間を持ちたいと思います。</p>

齋藤議長	時間になりましたので、これで議事1は終了とさせていただきます。 次にその他について、事務局からお願いします。 (次回会議の案内)
事務局	
中窪委員	